

科学技術・学術審議会人材委員会における検討事項の整理(案)

【人材委員会の所掌事務】 科学技術及び学術の振興を図り、科学技術創造立国を実現していくために必要な人材に関して、幅広い観点から調査検討を行う。(平成13年10月12日科学技術・学術審議会総会)

	人材の養成・確保		環境整備	
	初等中等教育段階	高等教育段階(社会人教育を含む。)		
研究者	<p>科学技術分野における卓越した人材育成に向けた取組(検討中)</p> <p>創造性や独創性を育む教育の推進</p> <p>各種科学オリンピック等のコンテストやサイエンス・キャンプへの参加促進と活動振興</p> <p>理数への興味を高め、「理科好き」の子どもの裾野拡大(検討中)</p> <p>実験、観察等の体験的・問題解決的な学習等の推進</p> <p>研究者・技術者の姿に触れ、科学技術に携わる者に触れあう機会の充実</p>	<p>博士課程における教育機能の強化(第一次提言)</p> <p>教育的視点の強化、カリキュラムの改革、自立性の養成</p> <p>大学院の研究者養成機能強化のための支援</p> <p>博士課程学生の海外派遣への支援</p> <p>人材養成面における博士課程と産業界との連携(第一次提言)</p> <p>博士課程学生へのインターンシップなど産業界のニーズ反映</p> <p>人材養成における産学官連携の場の設置</p>	<p>博士号取得者等、研究経験を有する者が社会の多様な場で活躍できるようなキャリア・パスの構築(第二次提言、検討中)</p> <p>高い専門性に加え、幅広い視野や関心、変化への柔軟な対応に係る大学院博士課程における教育機能の充実</p> <p>各人の能力・適性を踏まえた適切なキャリア・ガイダンス、カウンセリング等の付与</p> <p>大学院博士課程における教育機能の活性化</p>	<p>大学院における研究人材の多様性の確保(第一次提言)</p> <p>自校出身比率の低減、ポスドクからの採用増など、教員採用における配慮</p> <p>博士課程学生に対する経済支援の充実(第一次提言)</p> <p>各種支援制度のバランスある整備</p> <p>リサーチアシスタントの充実</p>
		<p>世界水準の研究人材養成機能の整備(第二次提言)</p> <p>国際競争力ある高度な人材養成に総合的に取り組む大学院や研究機関への支援</p> <p>若手の海外一流機関への派遣を通じた人材養成に係る制度の拡充</p> <p>急速に変化する需要に対応する研究人材の機動的供給メカニズムの導入(第二次提言)</p> <p>大学等の人材養成機関、企業等における柔軟な人材養成システムの確立</p> <p>大学等における社会ニーズの動向を注視した人材養成への柔軟な取組</p> <p>大学院教育等における、高い専門性に加えた、視野や関心の広さ、変化への柔軟な対応力養成に向けた力</p>		<p>失敗にくじけることなく新たな挑戦を行うことが奨励されるような社会的環境の醸成</p> <p>優秀な人材の博士課程進学に対するインセンティブ付与</p> <p>博士号取得者等が社会の多様な場へ進出し、活躍できるような環境の整備</p>
技術者		<p>将来を担う実行力、創造力を持った技術者の育成(検討中)</p> <p>特色ある大学教育の推進</p> <p>大学における技術者教育の向上</p> <p>大学院における技術者の養成・確保</p> <p>技術者が継続的に能力開発を行うことができる環境の整備(検討中)</p> <p>技術者の能力開発システムの構築</p> <p>自習可能なコンテンツの提供</p>		<p>技術者が誇りと生きがいを持って取り組むことができる社会の実現(検討中)</p> <p>技術者の役割の明確化、社会的地位の向上</p> <p>技術者の能力向上のためのインセンティブの付与</p> <p>技術者の貢献に対する適切な評価</p>
科学技術と社会の接点に立つ人材		<p>研究活動や研究成果を管理・運用する人材の養成(第二次提言)</p> <p>知的財産、産学官連携や研究マネジメントを含む技術経営等の専門家の養成を目指す大学院や専門職大学院等に対する支援</p>		<p>社会人が学びやすい環境の整備</p>
		<p>科学コミュニケーション人材の育成・確保、理数担当教員の資質向上(検討中)</p> <p>専門職としての科学コミュニケーター、退職研究者・科学ボランティアの育成</p> <p>理数担当教員の意欲、意識を含めた資質の向上</p>		<p>研究者自身によるアウトリーチ活動の推進</p> <p>科学技術を実社会で活用している姿に触れる機会の充実</p>

【とりまとめの視点】

第2期科学技術基本計画においては、研究者・技術者に求められる能力等について、創造性・独創性豊かで広い視野と実践的能力、国際的対応力、新興・融合分野への対応力、高い職業倫理の保持等が指摘されている。これを受けて、人材委員会においては、これまで「世界トップレベルの研究者の養成」、「国際競争力向上のための研究人材の養成・確保」について提言。

第3次提言に当たっては、第2期科学技術基本計画において、科学技術と社会の新たな関係の構築が求められていることを踏まえ、そのために必要な人材の養成・確保という視点に立って、初等中等教育からの連続性を重視しつつ、取りまとめてはどうか。